

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2 単位 理論経済	マクロ経済学 I	松田 慎一	1 年次	秋

授業のキーワード	国民所得、総需要と総供給、政府の役割
授業の概要	マクロ経済学は、一国の経済全体がどのように活動しているのか、説明する学問です。授業目標は、国民所得、総需要と総供給、政府の役割について理解することです。経済の前期科目の知識を前提にして授業を進めます。
期待される学習成果（目標）	1. マクロ経済学の基本的な考え方を理解できる。 2. 国民所得、総需要や総供給などの基本的な用語を使い経済について説明できる。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	授業概要の説明と、マクロ経済学とはどのような学問であるのかについて解説します。	第 9 講	マクロ経済における需要と供給	マクロ経済における総需要と総供給について説明します。
第 2 講	国民所得の概念（1）	国民所得に関する概念を説明します。	第 10 講	国民所得の決定理論（1）	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
第 3 講	国民所得の概念（2）	国民所得に関する概念を説明します。	第 11 講	国民所得の決定理論（2）	マクロ経済を分析する基本的な分析手法について説明します。
第 4 講	物価とは、名目と実質の違い（1）	名目と実質の違いについて説明します。	第 12 講	国民所得の決定理論（3）	国民所得の決定と政府の役割について説明します。
第 5 講	物価とは、名目と実質の違い（2）	名目と実質の違いについて説明します。	第 13 講	インフレギャップとデフレギャップ	インフレギャップとデフレギャップについて説明します。
第 6 講	消費の理論	ケインズの消費の理論について説明します。	第 14 講	インフレギャップとデフレギャップ	ギャップの計算方法について説明します。
第 7 講	貯蓄の理論	消費と貯蓄の関係および貯蓄の決定について説明します。	第 15 講	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。
第 8 講	租税とは	租税が消費や貯蓄に与える影響について説明します。	定期試験		授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
評価方法		授業貢献度と課題を 40%、期末試験を 60% として総合点数により評価します。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
必要に応じて資料を配布します。			スティグリッツ/ウォルシュ『マクロ経済学』第 3 版、東洋経済新報社 中谷巖『マクロ経済学入門』日経文庫 伊藤元重『マクロ経済学』日本経済評論社		